幼稚園の環境に秘められた秘密（思い）

幼稚園は、遊んでいるだけと言われることがありますが、「だけ」ではありません。幼児期の遊びの中で、小学校以降に育成すべき能力（知識・技能等、思考力・判断力・表現等、主体的に学習に取り組む態度）の基礎を培う大切な経験がたくさん盛り込まれています。しかし、その力はただ遊んでいるだけでは身に付きません。先生たちは、その遊びが意味あるものとなるために、身近な環境（場や物）に思いを込め、様々な仕掛けをしています。今回は、入園当初のうさぎ組（３歳児）に秘められた思いや仕掛けについてご紹介します。

【うさぎ組（３歳児）】

☆　入園当初、まずは幼稚園って「楽しそう！」「おもしろそう！」「やってみたい！」と、主体的に遊び出せるよういろいろな仕掛けがしてあります。

【保育室前に置かれたバギーカー】

目に付く所に遊具を置いて、すぐに遊び出せるようにしておこう。

バギーカーに乗って、幼稚園を探検だ！

【虫捕り】

【こいのぼり製作】

何かを持ったり、乗ったりしていると安心するんだよね。安心したら、いろんな所にお出かけして、幼稚園のこといっぱい知ってほしいな。

【砂　場】

ふかふかの砂で、感触を楽しんでほしいな。砂場を耕して、柔らかくしておこう！お山も作って、楽しい雰囲気をもつくっちゃおう！

おうちの人から離れて不安だよね。幼稚園に来たら楽しいって感じられるためにはどうしたらいいかな？

このように、何気なく置いてある物にも、様々な思い（仕掛け）が秘められていて、それがあるからこそ、意味のある遊びになっていきます。その仕掛けは、季節・子どもの成長・思いに応じてどんどん進化していきます。生きた学びとなるよう、先生たちの込める思いが保護者の皆様にも伝わりますように！